

全建発第16～281号
平成16年12月3日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第497回建設技術講習会(災害復旧)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第497回建設技術講習会では、河川、港湾、海岸、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶことを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北 橋 建 治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

第 497 回建設技術講習会（災害復旧）日程

— 河川、港湾、海岸、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶ。 —

会場.....電気ビル別館 1 F（電気ホール）

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 TEL 092-781-0685

開場 9:00		1 日目 平成 1 7 年 2 月 8 日（火）	（敬称略）
10:00 ↓	あいさつ	福岡県知事	麻 生 渡
10:20 ↓	"	福岡市長	山 崎 広太郎
10:20 ↓ 10:50	平成 1 6 年の発生災害とその状況	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
11:00 ↓ 12:00	災害採択ルール（ 1 ）	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
13:00 ↓ 14:20	災害採択ルール（ 2 ）	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
14:30 ↓ 15:30	【特別講演】 2003 年 7 月九州豪雨災害 - 対応と課題 -	九州大学大学院工学研究院 環境都市部門 助教授	橋 本 晴 行
15:40 ↓ 16:00 ↓ 16:20	【地域事業の紹介】 九州国立博物館建設事業について 新北九州空港連絡橋の概要	福岡県総務部国立博物館対策室 企画主幹 福岡県土木部新北九州空港連絡道路建設事務所 所長	田 邊 清 喜 片 山 義 隆
開場 9:00		2 日目 2 月 9 日（水）	（敬称略）
9:50 ↓ 10:35	港湾関係災害復旧事業の要点	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害査定官	谷 島 義 孝
10:45 ↓ 11:30	水産関係土木施設災害復旧事業の要点 ～事業内容及び被災事例の紹介～	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 災害査定官	中 村 隆
11:30 ↓ 12:00	【地域における技術苦労話】 進む浸水対策 ～御笠川河川激甚災害特別緊急事業～	福岡県土木部福岡土木事務所 災害事業室長	田 中 吉 春
13:00 ↓ 14:20	災害復旧事業の実務 / 災害査定の実際	国土交通省河川局防災課 災害査定官	野 田 猛
14:30 ↓ 15:50	改良復旧事業の進め方	国土交通省河川局防災課 課長補佐	藤 山 究
15:50 ↓	閉会のあいさつ	福岡県建設技術協会長	畑 哲 夫
地域の独自調査			

【現場研修】 3 日目 2 月 1 0 日（木）

博多駅筑紫口駐車場（8:30）出発 → 御笠川河川激甚災害特別緊急事業（車窓見学） → 九州国立博物館建設事業（下車説明）
→ 昼食〔北九州市門司区内〕 → 新北九州空港連絡橋建設事業〔連絡橋（供用前）～空港島 U ターン〕
— 上 — → 北九州空港（15:30） / J R 小倉駅（16:30）着後解散
— 下 — → 福岡空港（17:00） / J R 博多駅（17:40）着後解散
〔福岡空港から J R 博多駅への移動は混雑が予想されますので、地下鉄のご利用（乗車約 5 分）をお勧めします〕

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定技術講習会

第 497 回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

1 御笠川河川激甚災害特別緊急事業

平成 11 年 6 月 29 日及び平成 15 年 7 月 19 日の二度にわたる記録的豪雨に伴う溢水により、博多駅等で甚大な浸水被害を被りました。福岡県では平成 11 年度より事業に着手し、河口から山田橋までの 10.5Km 区間について河道拡幅、護岸整備、河床掘削、橋梁架け替え堰の改修をおこなっています。

..... 福岡市博多区



2 九州国立博物館建設事業

九州国立博物館は、太宰府市石坂にある県有地約 17 万平方メートル（うち太宰府天満宮からの寄附約 14 万平方メートル）に建設されています。

この博物館は、国が建設する部分及び福岡県が建設する『アジア学術・文化交流センター（仮称）』で構成されており、総称として「九州国立博物館」となります。施設の延べ床面積は、国が建設する部分約 17,000 平方メートル（九州国立博物館設置促進財団が建設し、国に寄附する部分を含む。）と県が建設するアジア学術・文化交流センター（仮称）部分約 11,000 平方メートルとを合わせた約 28,000 平方メートルで、これは東京国立博物館に次ぐ規模となります。

現在、平成 17 年度 10 月の開館をめざして準備を進めています。

..... 太宰府市石坂 4 丁目



3 新北九州空港連絡橋建設事業

新北九州空港連絡橋は、空港と福岡県北東部を結ぶ高速交通ネットワークの一環として整備が進む橋梁です。

〔海上橋概要〕

- ・設計荷重：B 活荷重
- ・上部工形式：（中央部）鋼モノコード式
バランスドアーチ橋（側径間部）鋼床版連続箱桁橋
- ・下部工形式：（中央部）壁式 R C 橋脚
（側径間部）Y 型 R C 橋脚
- ・基礎工形式：鋼管矢板井筒基礎

..... 京都郡苅田町松山地先他



第 497 回建設技術講習会の宿泊幹旋及び予約申込案内

宿泊料金: 宿泊希望者には福岡市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。
宿泊予約申込: 別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金: 宿泊予約金(1人1泊4,000円)は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先: 西鉄旅行㈱ 東京営業本部 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14 (都民興業日本橋ビル 6F)
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「497」を付け加えて下さい。
問い合わせ先: 西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 17 年 1 月 28 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 2 月 4 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

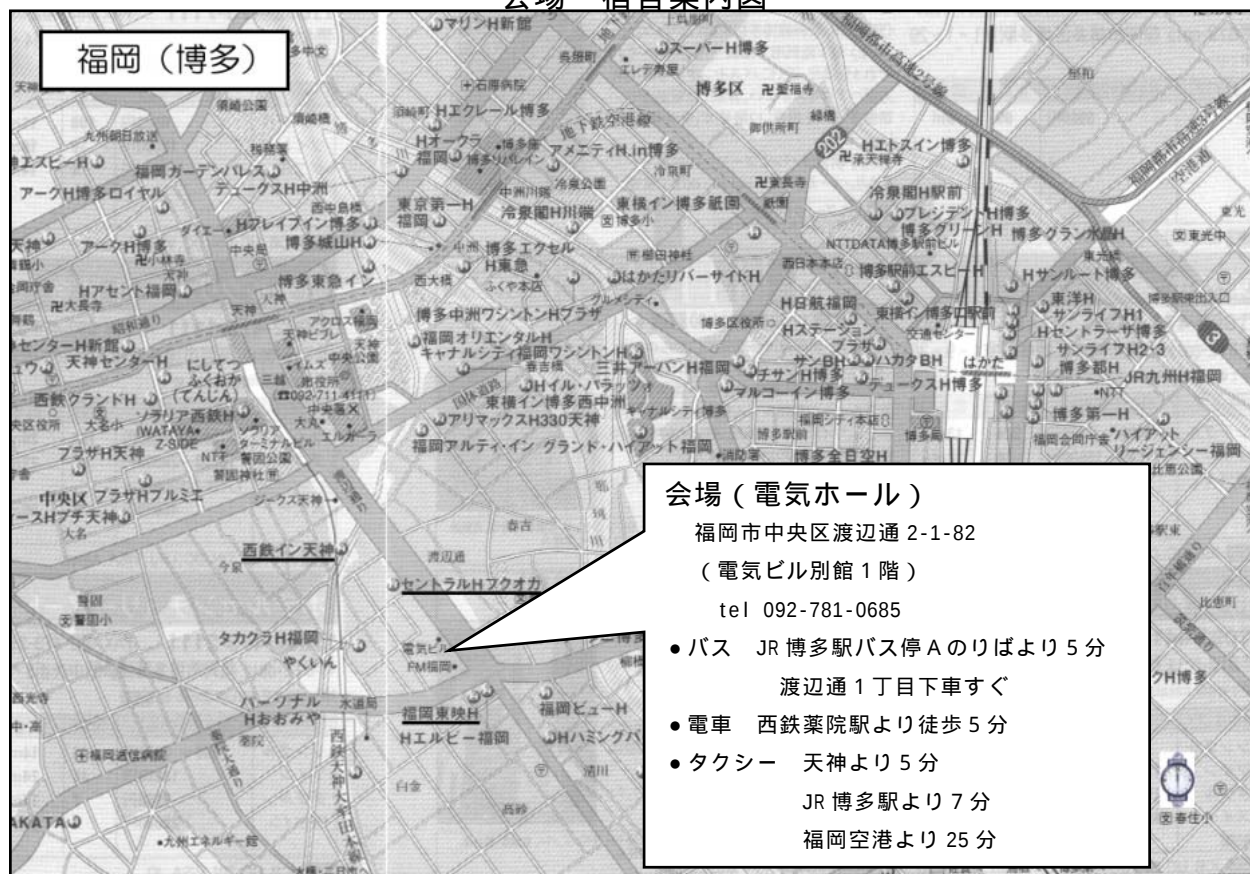
幹旋する宿舎名、宿泊料

平成 17 年 2 月 7 日 (月)・8 日 (火)・9 日 (水) (1 泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	セントラルホテルフクオカ	福岡市中央区渡辺通 4-1-2 TEL: 092-712-1212	シングル	50 名	8,500 円
B	福岡東映ホテル	福岡市中央区高砂 1-1-23 TEL: 092-524-2121		70 名	7,800 円
	西鉄イン天神	福岡市中央区渡辺通 4-7-1 TEL: 092-713-5454		30 名	6,500 円
宿泊幹旋人数合計				150 名	

* 宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



第 497 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ E を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169

「全建担当デスク」

【往路】2月7日（月）講習会前日

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽田空港 → 福岡空港 16:40 18:30	A N A 2 6 1 (全日空)	50 席	15,500 円
B	名古屋空港 → 福岡空港 17:00 18:25	A N A 2 3 3 (全日空)	30 席	12,000 円

【復路】2月9日（水）講習会2日目終了後

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
C	福岡空港 → 羽田空港 17:35 19:00	A N A 2 6 4 (全日空)	50 席	15,500 円

【復路】2月10日（木）現場研修終了後

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	北九州空港 → 羽田空港 16:45 18:10	J A L 1 8 2 8 (日本航空)	50 席	18,000 円
E	福岡空港 → 名古屋空港 18:00 19:10	A N A 2 3 4 (全日空)	30 席	12,500 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間 300 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【乗り継ぎ時間のご案内】

- ・お乗り継ぎの場合は、40 分以上の乗り継ぎ時間が必要となります。
- また、羽田空港全日空新ターミナル O P E N に伴い、全日空便及びエアー北海道便と他社便の乗り継ぎの場合は、60 分以上の乗り継ぎ時間が必要となります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	1/22～1/27 に取消した場合	1/28～2/3 に取消した場合	2/4 以降便出発ま でに取消した場合
A ～ E	全 区 間	3,000 円	6,000 円	9,000 円

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別 賛助会員名)

第 497 回建設技術講習会 (災害復旧) 申込書

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約日			航空便申込	
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に A・Bを記入			予約便にA ～ Eを記入	
							2/7	2/8	2/9	往 路	復 路
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 正会員 特別会員 賛助会員 名 × 7,600円 = " (昼食不要) 名 × 6,000円 = 非 会 員 名 × 12,600円 = " (昼食不要) 名 × 11,000円 = 現場研修料 名 × 7,000円 =						↑ 現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません	宿泊予約金 泊 × 4,000円 航空便 往路 名 × 円 復路 名 × 円				
計							計 円				

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行に振込

【お申込み後の変更・取り消し・追加方法について】

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、
「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。
全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

【昼食について】

聴講時の昼食について

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
現場研修時の昼食について：
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。